

令和 8（2026）年度

社会福祉法人明桜会

事業計画書



社会福祉法人
明桜会

目 次

法人事業計画

1. 法人使命・基本理念	1
2. 本年度の基本方針	2
3. 重点施策（チーム・委員会等）	4
4. 重点活動（ワーキング）	6
5. 評議員会及び理事会	7
6. 組 織 図	8
7. 運営企画室主要業務	9
8. 法人年間予定	10
9. ワーキング活動年間予定	11
10. チーム活動年間予定	12

事業所事業計画

1. 法人事務課	13
2. 大地の家	15
3. サポートセンター翔	18
4. サポートセンター曙	21
5. サポートセンター双葉	24
6. サポートセンター貴和	27
7. やまゆりの家	30
8. グループホーム咲楽	33
9. あいすくりーむの家、かいのき	36
10. すたじおぼっち	39
11. 相談支援事業所オアシス	41
12. 明石市障害者就労・生活支援センターあくと	44
13. 明石市立木の根学園	47

1. 法人使命・基本理念

【法人使命】

全ての知的障害を有している人々が、一人のかけがえのない人として豊かな生活を送ることができる地域社会をこの法人を立ち上げた明石地区手をつなぐ育成会やその他明石を中心に活動する福祉諸団体と共に育んでいく。

【基本理念】

- ・ 私達は、ご利用者一人ひとりの基本的人権を尊重します。
- ・ 私達は、ご利用者と喜びや怒り、哀しみ、楽しみ等を共有します。
- ・ 私達は、ご利用者の成長を喜びとします。
- ・ 私達は、ご利用者の僅かな変化も感じとれる視点と感性・センスを磨きます。
- ・ 私達は、ご利用者の意欲を高め、自己実現に向けた支援に努めます。
- ・ 私達は、一人ひとりの生活歴や背景、障害の状況等を理解し、本人の意思を尊重しながら、可能な限り地域社会で生活できるよう支援に努めます。
- ・ 私達は、地域社会と常に連携を取りながら障害に対する理解を広げます。

全職員が基本理念を踏まえ、以下の方針に基づいて行動し、第 2 期アクションプラン（2025～2027）を着実に実現することで、法人の使命を果たしていきます。

【法人ビジョン】

私たちは、知的障害のある人一人ひとりが、かけがえのない存在として地域で尊重され、安心して自分らしく暮らし続けられる共生社会の実現を目指します。地域や関係機関との連携を深めるとともに、支援の質を高め続ける人材の育成に取り組み、時代の変化や多様なニーズに応え信頼され続ける法人を創っていきます。

【法人ミッション】

その人が望む暮らしの実現に向けて、ご利用者の目線に立った支援の実践と体制の構築を進めていきます。

2. 本年度の基本方針

(1) 組織の一体感と心理的安全性を高め、職員が主体的に成長する組織へ

法人および事業所のビジョン・ミッションを理解し、それらを日々の業務や個人目標と結び付けることで、職員一人ひとりが主体的に行動できるようにしていく。

① ビジョンとミッションの浸透を図る

社内報などを通じてビジョンやミッションを継続的に発信するとともに、事業所の基本方針等を共有する場を設け、その浸透を図る。

② 安心して挑戦・成長できる環境を整える

職員に対する定期的なフィードバックや職員との個別対話を意図的に行う事で、相互理解や心理的安全性を高め、安心して挑戦・成長できる環境を整える。

(2) 高齢化・重度化に対応した支援体制を整備し、安心して暮らせる地域づくりへ

ご利用者の高齢化や重度化に対応した支援体制を整えるとともに、グループホームの拡充を進め、地域で安心して暮らせる環境を整備していく。

① グループホーム事業を拡充する

- ・グループホーム咲楽 1 番館の安定運営を図る。
- ・グループホーム咲楽 2 番館の開所及び安定運営を図る。
- ・グループホーム咲楽 3 番館（女性）の開所準備を進める。
- ・魚住西岡ホーム（第 3 やまゆりの家）を西八木へ移転させ、女性 2 名の定員増を進める。

② 支援力の向上を図る

- ・自閉スペクトラム症などの特性に応じ、生活や活動の「見える化」を進め、見通しをもって安心して行動できる環境を整備する。（構造化の推進）
- ・ワーキングをはじめ事業所間でも個別支援の情報共有を行い、良い支援の取り組みを波

及させていく事で全体の支援力向上を図る。

- ・専門性の還元に向けて行動援護研修を企画実施する。
- ・建物自体の物理的環境の課題に対しては、中長期的な視点をもって検討を進める。

③ 安心と安全を意識した支援体制を整える

- ・ご利用者の意思やプライバシーを尊重しつつ、安定した支援の維持・確保のため、必要に応じて異性介助の導入を進める。
- ・異常時の早期対応や支援の検証、職員の負担軽減を目的に見守りカメラや介護ロボットの導入を計画的に進めていく。(補助金活用)
- ・上記導入に伴い、ご利用者の個人情報等に関する規定を再考し、安心・安全の強化を図る。

(3) 業務の効率化・生産性の向上へ

現行の業務を精査し ICT の活用を推進することで、属人化を抑制するとともに生産性の向上につなげる。

① AI の活用とオンライン会議の推進

AI の活用に関するガイドラインを策定し、文書、資料、記録作成及び情報収集などの業務効率化を図っていく。また、オンラインでの会議実施を推奨し、移動や会議にかかる時間・コストの効率化を図る。

② デジタル化による効率化の推進

法人本部における事務量の増加と将来の体制構築を見据え、デジタル化による効率化の推進を検討する。

(4) 組織力を強化し、信頼性と透明性の高い法人運営へ

ご利用者・職員・地域の声に耳を傾け、その意見を運営に反映させることで、コンプライアンス強化を図り、満足度の向上と透明性の高い組織運営を実現していく。

① 地域交流を通じた社会参加と地域生活の基盤づくり

事業所主体で展開している地域との多種多様な交流機会を活用して、ご利用者の社会参加と地域生活の基盤づくりを促進していく。また、ボランティアや実習生の受け入れについては、人材確保チームと事業所等が連携し進めていく。

② 情報発信による新たなファン・サポーターの確保

PR 担当者を中心に、法人及び事業所の活動実績や地域貢献を分かりやすく発信し、新たなファン・サポーターの確保につなげていく。また、法人全体で年間数百名となる見学者に対して法人サポーターの案内を行いその輪を広げていく。

③ 組織力の強化

日々の活動や運営協議会等から、ご利用者・職員・地域のニーズを把握し運営に反映させることで、満足度と透明性の高い組織運営につなげていく。また、役職人員体制等の

状況を含め、職務権限（役割）が不均衡となっている課題については、職務内容、評価制度、給与体系等一体的に検討を進め組織力の強化につなげていく。

④ 組織体制の再編

上記と並行して、それぞれの役職に求められる役割に注力できる体制を整えるため、組織体制の再編を検討していく。

(5) 物価高騰下における経営基盤の安定と計画的投資の推進へ

最低賃金や社会保険料等の上昇により、今後も人件費を含む経営コストの増加が見込まれる。また、新規事業や大規模修繕についても、物価高騰を踏まえた計画的な実施が求められる。そのため、無駄なコストカットを徹底し、福祉サービス収益の安定確保を重視した経営を行う。そのうえで、確保した財源を人件費や施設整備（新築工事・大規模修繕等）に優先的に配分し、職員の働きやすさと施設の安全性・効率性向上を図っていく。

① 経営目標と予算執行の確認

経営会議等を通じて経営目標や予算執行状況を共有し、課題や改善点については早期に対応する体制を整えることで、法人全体の経営基盤の安定を図る。

（事業活動収入に対する事業活動収支差額 5%を目標とする）

② 補助金・助成金の活用

設備投資等については可能な範囲で補助金、助成金等を活用していく。

③ 報酬改定、処遇改善加算制度等への対応

定員、加算、稼働率などから適切な収益を確保するとともに、制度改正に迅速に対応し、人材確保や職員満足度につながる処遇改善加算手当の分配方法を検討する。

3. 重点施策（チーム・委員会等）

(1) 職員間のつながりを深め、安全で働きやすい環境を整備する（委員会・会議等）

① 防災担当者を中心に、実際の非常時行動を想定した BCP に改定するとともに、新たに防災士（1 名）の養成に努める。

② SDGs 担当者を中心に、職員同士が横のつながりを感じ取り組める企画を継続していく。
（あかし SDGs パートナーズへの継続参加、ヘルマンハープを通じた交流など）

③ ハラスメント担当者を中心に、ハラスメント防止対策の実施およびカスハラ対策義務化に伴う指針等を整備する。また、今後義務化が想定されるメンタルヘルス対策については、「管理職研修」「ストレスチェック体制」「産業医の配置」「相談窓口の設置」などについて検討を進める。

④ 法人虐待防止委員会を中心に、虐待防止、事故防止、労災事故について検証し周知する。

⑤ 法人事務課を中心に、法人全体の事務業務を俯瞰し、事務員の役割分担の在り方やスキル向上を検討するとともに、今後の事務体制の効率化を推進する。（事務連絡会の実施）

⑥ 各ワーキングを中心に、パート、世話人、ドライバー等に焦点を当てた研修を実施する。

(2) 人材確保チーム

少子化や労働人口の減少といった社会的背景を受け、当法人における採用環境は年々厳しさを増している。今後も安定した事業運営を継続していくために、計画的かつ継続的な人材確保が重要な課題である。このため、新卒者、社会人経験者、外国人労働者など、求職者層の特性に応じた採用活動を推進するために採用チーム内の役割分担の明確化と業務効率化を図っていく。新卒採用においては、先進的な取り組みとしてオファーボックスを活用した学生への直接的なアプローチを行い、より効果的かつ継続的な採用活動を展開する。また、次年度咲楽3番館の開所を見据え、年間を通じて概ね10~12名程度の人材確保を目標とする。各事業所においても採用チームと連携しながら、契約職員の積極的な採用を随時進め、職員配置の適正化および安定的な人員体制の確保に努める。

(3) 育成・キャリアアップチーム

人材確保と同様に、育成および定着を最重要ミッションと位置づけ、従来の階層別研修を継続しつつ「実践への定着」を重視した取り組みを推進する。令和7年度に職制研修として実施した「1on1 セッションスキル研修」を単発で終わらせず、現場での定着を図るため、新たに「人材育成に関する職制ワークショップ」を開催する。ワークショップでは、各事業所における研修計画の策定、面談の活用状況、研修報告の振り返りと現場実践への紐付けなどについて情報共有を行う。あわせて、育成現場における課題や工夫を協議する場を設けることで、法人全体における育成の質を底上げする。また、中途採用による未経験者や異業種からの入職者が増加している現状を鑑み、「中途採用者向け研修会」を新設する。業務上の基礎知識や指針の共有に加え、法人の理念や価値観への理解を深めることで、中途採用者が円滑に業務へ適応し、意欲的にキャリアアップを目指せる環境を整備する。

(4) 強度行動障害の状態にある方のグループホーム推進チーム

グループホーム咲楽3番館の建設準備を進めるとともに、1番館、2番館の安定運営、入居者の快適な暮らしの実現に向けて活動する。また、行政等との連携を図り、強度行動障害の状態にある方の暮らしに関するセミナーを実施し、暮らしの場、暮らし方の選択肢の拡充を図っていく。

- ・咲楽3番館 設計、入札、契約、国庫補助申請
- ・咲楽3番館入居者選定、個別アセスメント、家族説明会、住民説明会の開催
- ・生活の質に関連する検討会議の実施
- ・啓発研修（強度行動障害の状態にある方の地域生活向上セミナー）
- ・先進地視察（日中支援型GH若しくは地域ネットワークが整っている自治体）

4. 重点活動（ワーキング）

法人内の事業所を 3 部門に編成した事業所横断型のワーキング体制を整備することで、情報共有および相互支援体制を強化し、アクションプランの実現を目指していく。

(1) 就労支援ワーキング

（サポートセンター曙・貴和・明石市障害者就労・生活支援センターあくと）

目標	具体的活動
・就労支援を語れる人材の育成 ・その人に合った「働きたい」の実現 ・事業所の安定した運営経営 ・B 型から移行へ 1 名以上チャレンジ ・就労希望者の自己実現	学齢期親子体験会 職員交換実習及び報告会 法令遵守事項相互確認 ご利用者意見聴取会 地域向け 就労支援啓発企画（みらいマップ） 工賃向上検討 随時

(2) 居住支援ワーキング

（大地の家・やまゆりの家・あいすくりーむの家・グループホーム咲楽、オアシス）

目標	具体的活動
・職員の専門性発揮と経験の場を作る ・運営の安定化を図る	定例会議（地域移行、空床、待機者把握・人材確保、育成、定着・ICT 導入状況・運営・経営に関する意見交換・情報共有） 取り組み ①研修会（中途採用者向け研修・実践報告会） ②地域連携推進会議 ③介護保険事業者との連携

(3) 生活介護ワーキング

（サポートセンター翔、双葉、すたじおぼっち、明石市立木の根学園）

目標	具体的活動
生活介護の事業所内で重度利用者の個々の特性に応じた本人主体の支援を実践するために、個別支援の在り方の検討や適切な事業所運営が行えるよう連携を図る	・毎月開催の定例会議を通じて、支援・活動プログラムや運営に関する共通理解や情報交換を密に行い、連携を図る。 ・現場交換実習や個別支援計画の在り方勉強会をシリーズで開催し、サビ管、支援員の学び・支援力向上につなげる。

5. 評議員会及び理事会

定款の定めに沿って、下記の評議員会、理事会を開催する。

評議員会

開催予定	主要議案
2026 年 6 月	前年度事業報告、決算報告、監事監査報告、社会福祉充実残額計画結果報告、
2026 年 12 月	上半期事業報告、上半期会計報告、運営協議会報告、第 1 次補正予算案審議
2027 年 3 月	次年度事業計画案、次年度予算案、第 2 次補正予算案審議
臨時開催	事業運営等必要に応じて開催

理事会

開催予定	主要議案
2026 年 6 月	前年度事業報告、決算報告、監事監査報告、社会福祉充実残額計画結果報告、
2026 年 11 月	上半期事業報告、上半期会計報告、運営協議会報告、第 1 次補正予算案審議
2027 年 3 月	次年度事業計画案、次年度予算案、第 2 次補正予算案、管理者等人事案審議
臨時開催	事業運営等必要に応じて開催

6. 法人運営体制（2026 年 4 月 1 日時点）

理事長 小松正和

理事 公家裕 吉川義明 中川裕美子 鳥居健一 岡平ゆかり

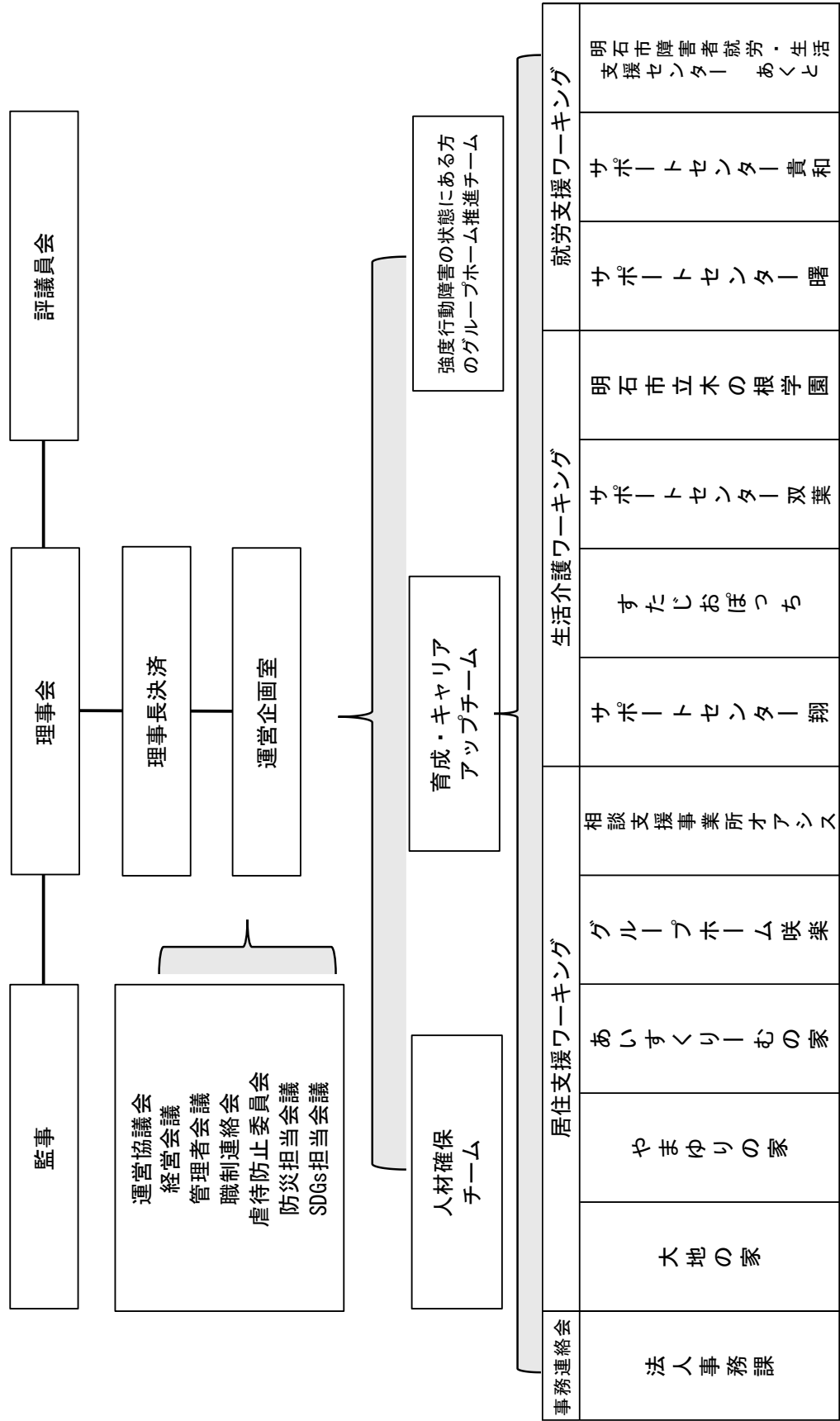
監事 松田千尋 黒田清隆

評議員 青木志帆 金田孝行 橘田浩 木下宣明 牧山榮子 松本将八 三木則夫

相談役 日下孝明

第三者委員 宗行正明

令和8年度社会福祉法人明桜会 組織図



令和8年度 運営企画室主要業務

年間スケジュール												
No.	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	法人動向	監事監査 役員事業所見 学	理事会 評議員会		経営会議 虐待防止委員 会	管理者会議 上半期報告 運営協議会		理事会 経営会議	評議員会 職制連絡会 法人事業計画 案説明	防災訓練		理事会 評議員会 管理職・チー ム事業計画案 説明
②	担当業務	《広報》 職務行動計画 事業報告 役職者行動評 価表					《広報》 補正予算案の 提出 ハラスメント、コンプラ イアンス強化 月間	法人事業計画 意見抽出	法人事業計画 案作成	《広報》 事業計画案作 成 事業所予 算案作成		
③	人事関係	一般職 人事評価	正規・月給職 員の業績達成 度目標作成							正規・月給職 員の自己評価、上司評価	人事評価決定 会議	結果面接
		職務行動計画 作成 役職者行動評 価表モニタリ ング					役職者評価	役職者評価決 定・面接広報	管理者評価決 定・面接			
							正規昇格推薦 者・候補者の 選定	全職員対象 次年度勤務意 向確認	役職者配置案 作成申請	正規登用・役 職昇格試験 人事検討会 議・職員配置 案作成申請	全職員向けに 異動内示（月 末）	
④	各担当	鳥居	管理者会議	職制連絡会	法人虐待防止委員会	就労支援ワーキング	強度行動障害の状態にある方のグループホーム推進チーム					
		岡平	経営会議	ハラスメント相談窓口	事務連絡会	人材確保チーム						
		宮崎	人事検討会議	正規登用試験	生活介護ワーキング	人材確保チーム						
		三村	人事評価調整会議	助成金申請調整	ハラスメント相談窓口	居住支援ワーキング	育成キャリアアップチーム					
		吉田	運営協議会	強度行動障害SV事業	強度行動障害の状態にある方のグループホーム推進チーム							

令和8年度
社会福祉法人明桜会
年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	水 辞令交付式	金 開所日	月 開所日	火 開所日	土 開所日	火 開所日
2	木	土	火	水	日	水
3	金	日	水	木	月	木
4	土	月	木	土	火	金
5	日	火	金	日	水	土
6	月	水	土	月	木	日
7	火	木	日	火	金	月
8	水	金	月	水	土	火
9	木	土	火	木	日	水
10	金	日	水	金	月	木
11	土	月	木	土	火	金
12	日	火	金	日	水	土
13	月	水	土	月	木	日
14	火	運営企画会議	火	運営企画会議	金	月
15	水	金	月	水	土	火
16	木	土	火	木	日	水
17	金	日	水	金	月	木
18	土	月	木	土	火	金
19	日	火	金	日	水	土
20	月	水	土	月	木	日
21	火	木	日	火	金	月
22	水	金	月	水	土	火
23	木	土	火	木	日	水
24	金	日	水	金	月	木
25	土	月	木	土	火	金
26	日	火	金	日	水	土
27	月	水	土	月	木	日
28	火	木	日	火	金	月
29	水	金	月	水	土	火
30	木	土	火	木	日	水
31	金	日	月	金	月	土
備考						
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
業務外休日	9	9	9	9	10	9
備考						

令和8年度ワーキング年間予定			
ワーキング名	就労支援	居住支援	生活介護
取り組み内容	・みらいマップ（就労支援説明会） ・学齢期親子体験会 ・職員交流実習、全体報告会 ・法令遵守事項相互確認 ・ご利用者意見聴取会 ・工賃向上 随時	定例会議（・地域移行・空床・待機者把握・人材確保育成定着・ICT導入状況・運営・経営に関する意見交換・情報共有） 取り組み ①研修会（中途採用者向け研修・実践報告会） ②地域連携推進会議 ③介護保険事業者との連携	毎月開催の定例会議を通じて、重度利用者の特性に応じた個別支援の在り方の検討や、適切な事業所運営が行えるように連携を図る。 ①現場支援員の交換体験実習 ②サビ管を対象とした個別支援計画の在り方勉強会をシリーズ開催し、年間を通して個別支援を提供するプロセスを学ぶ機会を設ける
4月	定例会議 みらいマップ準備 学校訪問 法令遵守事項・事業所年間計画共有	定例会議	毎月一回の定例会議を開催
5月		中途採用者向け研修会	
6月	定例会議 イベント：みらいマップ	定例会議	第1回個別支援計画の在り方勉強会
7月	定例会議 ご利用者意見聴取会		交換体験実習
8月	定例会議 イベント：親子体験会	定例会議 実践報告会	交換体験実習
9月	定例会議 職員交換実習・全体報告会	地域連携推進会議	交換体験実習
10月		定例会議 居住系事業所管理者 ミーティング	第2回個別支援計画の在り方勉強会
11月	定例会議 他事業所視察		
12月		定例会議	
1月	定例会議 次年度計画案作成		
2月		定例会議 居住系事業所管理者 ミーティング	第3回個別支援計画の在り方勉強会
3月		実践報告会	

令和8年度チーム活動年間予定				
チーム名	人材確保	育成・キャリアアップ	強度行動障害の状態にある方のグループホーム推進	
担当	宮崎・岡平・北代	三村・加地・伊丹	吉田・鳥居	
取り組み内容	①新卒内定者の確保 ・就職フェアへの出席、年間を通して法人説明会、見学会の開催 ・求人サイト（マイナビ・オファーパーソックス）の年間運用と管理 ・学生向け就職セミナーの開催 ・内定者向け懇親会、事業所見学会、研修会の企画開催 ②中途・社会人採用者の確保 ・就職フェアや関係機関と共催の「お仕事説明会」の企画実施 ・第3期収養に向けたオープニングスタッフ募集のサイト運用（運営企画付）	①新任職員研修 ②0JT担当者研修 ③2、3年目研修 ④中堅職員研修 ⑤職員研修会 ～人材育成に関するワークショップ～ ⑥中途採用者向け研修会 ※居住系ワーキングと協働 ⑦一般職人事評価検討会議 ⑧育成担当者ミーティング（2ヵ月/1回）	「咲楽3番館」第3期開設準備 ①設計、工事関連 ・基本設計・実施設計・入札・建物本体工事、検査・図庫補助申請 ②入居者関連 ・2階入居者公募選定・個別アセスメント、家庭訪問・入居者説明会 ③強度行動障害に関する研修会の企画実施 ④住民説明会	
4月	法人説明会・事業所見学会は随時開催	育成担当者ミーティング		
5月	新卒正規採用試験の開催	0JT担当者研修 法人中途採用者向け研修（居住系ワーキング）	3番館実施設計	
6月		中堅職員研修 職制研修会 ～人材育成に関するワークショップ～ 育成担当者ミーティング	3番館 1階入居者説明会 3番館 2階入居者募集・選考	
7月	就職フェアへの出展	2年目研修	3番館 入居者個別アセスメント開始	
8月		3年目研修（～10月） 育成担当者ミーティング	3番館 2階入居者説明会 3番館 入札	
9月	内定者交流会	0JT担当者振り返りミーティング	施工業者決定後 住民説明会 強度行動障害の状態にある方の地域生活向上セミナー	
10月	就職フェアへの出展	2年目集合研修 育成担当者ミーティング		
11月	第3期咲楽開所に向けた求人広報開始（チラシ配布）	3年目集合研修 中堅職員研修	咲楽1～3番館 生活の質に関する検討会議	
12月	ハローワーク共催 中途向け「お仕事説明会」の開催	育成担当者ミーティング		
1月	外国人採用の経過確認と今後の追加採用の検討	育成担当者ミーティング※次年度事業計画検討	入居前説明会	
2月		1年目集合研修	3番館 現地見学会	
3月	就職フェアへの出展 内定者見学会・研修の開催	育成担当者ミーティング	3番館 開所式 最終検査	

令和8年度事業所事業計画

事業所名：法人事務課

1. 概要 ※就労定着支援事業、相談支援事業は4月1日時点の契約者（予定）数を記載

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
施設入所支援	37	短期入所	18
生活介護	252	日中一時支援	6
就労定着支援	12	就労移行支援	15
就労継続支援B型	60	共同生活援助	89
共生型通所	20	指定特定相談支援	417
指定障害児相談支援	2	一般相談支援	0
明石市障害者就労・生活支援事業業務委託事業			
明石市立総合支援センター新館地域共生社会推進事業			

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

法人事務課は、法人使命・基本理念を支える基盤として、職員・ご利用者・地域から信頼され、安定的かつ柔軟に法人運営を支える事務体制の確立を目指す。また、現場（各事業所）が安心して支援に専念できるよう、正確性・公平性・透明性を重視した事務運営により、持続可能な法人経営に貢献する。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

- ・人事・労務・経理・総務等の事務を適正かつ円滑に遂行する
- ・法令遵守とリスク管理を徹底し、信頼性と透明性の高い法人運営を支える
- ・業務の標準化とデジタル化を進め、生産性向上と属人化防止を図る
- ・事業拡大や制度改正に伴う事務的課題に的確に対応する
- ・職員が安心して働き、成長できる環境づくりを事務面から支援する

4. 本年度の具体的な活動計画

本年度は、職員が安心して業務に専念できる事務運営を土台としつつ、事業拡大・制度改正に柔軟に対応できる事務体制の整備を進める。

順位	項目	内容
1	組織の一体感と心理的安全性を高め、職員が主体的に成長することを支える事務運営	・法人ビジョン・方針の共有、制度の分かりやすい周知に努める。 ・職員からの相談・問い合わせへの丁寧な対応を心掛け、信頼関係を構築する。 ・事務連絡会を定期的を開催し、情報共有と課題整理を行う。
2	事業拡大・支援体制強化への対応	・グループホーム新設・移転等に伴う指定申請、届出、契約事務の適正な実施に努める。 ・補助金・助成金の情報収集および申請対応を行う。
3	業務効率化・生産性向上の推進	・事務業務の見直しと役割分担の整理を図る。 ・将来の事務体制を見据えたデジタル化・システム導入及び一部試行を検討する。
4	コンプライアンス・リスク管理の強化	・ハラスメント・虐待防止、労災・事故対応の事務的支援に努める。 ・関係法令・制度改正情報の収集と法人内への迅速な共有を図る。
5	経営基盤の安定と計画的投資に向けた取組	・事業活動収支差額目標を踏まえた予算執行管理、経営会議資料の作成を行う。 ・報酬改定・処遇改善加算等への適切な対応を図る。

令和8年度事業所事業計画

事業所名：大地の家

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
施設入所支援	37	短期入所	6
生活介護	37	日中一時支援	6

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

本人の意思を尊重し、障害特性やライフステージの変化に応じた支援を行う。知的障害のある方々が地域で安心して暮らし続けられるよう、「日々の安定した生活を支える機能」と「新たな選択へとつなぐ中継機能」の両面からサポートする。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

「利用者一人ひとりの『望む暮らし』を形にする」ため、意思決定支援の質を向上させるとともに、職員が専門性を発揮できる体制を構築する。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	専門性の向上と意思決定支援の実践	・「夢マップ」のブラッシュアップ 「〇〇したい」という要望に対し、「なぜ？」という問いを立てることで、そのニーズを反映した計画を策定・実行する。 ・実践報告会の実施 前年度内部研修として実施したが、居住支援ワーキングを通じて、法人単位での実践報告会を実施し、根拠に基づいた支援の言語化と PDCA サイクルを実現し、さらなる専門性の向上を目指す。 ・強度行動障害スーパーバイザー養成事業への参画 ・介護保険事業者との連携

2	利用者支援・活動提供	・ 日中活動プログラムの再構築 「アクティブ（農園・運動・散策）」「五感刺激」「リラクゼーション」の3つの視点に基づいたプログラムを構築し、個々のニーズに合わせて選択できるように計画的に実施する。 ・ 活動環境の整備 スヌーズレン室を安定的な活動空間にする。
3	職員の働きやすさとモチベーション向上	・ 職員定期面談の継続実施 業務上の課題や不安の早期把握、キャリア形成の支援を目的として定期面談を継続する。 ・ OJT バックアップ体制の構築 新任職員および経験の浅い職員を中心に、安心して業務に取り組める OJT 体制を整備する。 ・ 研修報告書へのフィードバックの充実 研修内容が実践につながるよう、具体的なフィードバックを行う。
4	運営・経営の安定化	持続可能な事業運営を目指し、業務効率化と経営基盤の強化を図る。 ・ ICT の導入（タブレット PC の増設） ・ 業務マニュアルの見直しと整備 ・ 多様な雇用形態の推進 ・ 既存取引先に限定しない相見積もりの実施によるコスト意識の向上 ・ 個室化完了後を見据えた運営体制の検討
5	地域交流	地域に開かれた施設運営を目指し、地域との継続的な関係構築を行う。 ・ 大久保自治会、高丘地区まちなかゾーン会議、「みんなの給食」等の地域活動への参画 ・ 明石市立明石商業高等学校との交流の継続
6	家族交流	利用者・家族との信頼関係を深め、支援の共有と理解促進を図る。 ・ 家族だよりの発行（年4回） ・ 利用者・ご家族を対象とした交流イベントの開催 ・ 「咲楽」の見学・報告会の実施

令和8年度 年間予定表

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		
		水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	水	辞令交付式		土	開所日・訪問理容		火	土	訪問理容		火	役職会議①	金	元旦				金	年始休暇		火	火	火	火	火	
2	木						水																			
3	金				日	憲法記念日	水		金																	
4	土	訪問理容	月	みどりの日	木		土	訪問理容	火	火	土	文化の日														
5	日		火	こどもの日	金		日																			
6	月		水	振替休日	土	訪問理容	月																			
7	火		木		日		火	火	金																	
8	水		金	健康診断	月		水		土	土	土	土														
9	木		土	開所日	火	役職会議	木																			
10	金		日		水		金																			
11	土		月		木	内科検診	土																			
12	日		火	定例会議	金		日																			
13	月		水		土		月																			
14	火	定例会議	木		日		火	役職会議	金																	
15	水		金		月		水		土	土	土															
16	木		土	開所日	火		木		日																	
17	金		日		水		金		月																	
18	土		月		木		土		火	火	火															
19	日		火	役職者会議	金		日		水																	
20	月		水		土		月	海の日	木																	
21	火	役職者会議	木		日		火		金																	
22	水		金	訪問歯科	月		水		土	土	土															
23	木		土	開所日	火	職員会議・救急救命	木																			
24	金	訪問歯科	日		水		金	訪問歯科	月	月	月															
25	土	開所日	月		木		土	開所日	火	火	火															
26	日		火		金	訪問歯科	日		水	土	土															
27	月		水		土		月		木	木	日															
28	火	職員会議	木		日		火	職員会議	金	金	土															
29	水	昭和の日	金		月		水		土	土	火															
30	木		土	開所日	火		木		日	日	日															
31			日		金		金		月	月	月															
備考			健康診断 家族交流会 職員面談		内科検診 職員面談				実践報告会								職員面談 予防接種		クリスマス会		内科検診 総合防災訓練		職員面談		職員面談 実践報告会	

令和8年度事業所事業計画

事業所名：サポートセンター翔

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
生活介護	60	短期入所	3

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

ご利用者・ご家族・職員の三者が、未来に希望を持って共に歩み続けられる場所を目指す。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

自閉症支援の深化による支援力の向上と、職員が心身ともに健康に働ける環境づくりを両立させることで、質の高いサービス提供を持続可能なものにする。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	自閉症支援力の向上	強度行動障害支援 SV 養成事業と連動し、自閉症支援の視覚化支援、構造化についてスキルアップを図り、支援の統一と環境調整を行う。パーテーション設置等の物理的構造化を再実施する。 アセスメントを大切にし、ご家族や関係機関との連携を深め、支援力向上につなげる。 強度行動障害に関する外部研修への参加、および事業所内での伝達研修の実施。
2	人材育成・人材確保の強化	多様な働き方に対応した役割分担を明確化し、職員一人ひとりが主体性と貢献感を得て働ける仕組み作りを行う。 階層別研修、強度行動障害支援者養成研修等を計画的に受講する。 SNS・ブログで、日々の活動風景や福祉職の魅力を発信していく。 異業種からの転職者や、短時間勤務を希望する子育て世代・シニア層へのアプローチを行う。

3	ICT 化の推進	ネット環境の整備を進め、タブレットなどの ICT ツールを活用し、効率化を進めるとともに間接業務における役割分担や仕組みについての再構築を行う。 障害特性に応じた視覚化支援等の支援に活用していく。 見守りカメラの導入についても計画的に進めていく。
4	環境整備・設備投資	老朽化した設備の更新、ユニット化のための環境整備、送迎車両・パソコン・インカム等の更新・増設について、助成金も活用し計画的に準備し進めて行く。
5	地域交流・地域貢献	引き続き、地区社会福祉協議会やまちづくり協議会などに参画し、地域の障害理解の促進に努めるとともに事業所のファンを増やしていく。 明石商業などの福祉科からの実習受け入れを積極的に行う。

令和8年度 年間予定表

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	水	辞令交付式	金	土	開所日	火	水	木	金	土	日	月	火
2	木		土		火	水	木	金	土	日	月	火	水
3	金		日	憲法記念日	水	木	金	土	日	月	火	水	木
4	土		月	みどりの日	木	金	土	日	月	火	水	木	金
5	日		火	こどもの日	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	月		水	振替休日	土	日	月	火	水	木	金	土	日
7	火		木		日	月	火	水	木	金	土	日	月
8	水		金		月	火	水	木	金	土	日	月	火
9	木		土	開所日	火	水	木	金	土	日	月	火	水
10	金		日		水	木	金	土	日	月	火	水	木
11	土		月		木	金	土	日	月	火	水	木	金
12	日		火		金	土	日	月	火	水	木	金	土
13	月		水		土	日	月	火	水	木	金	土	日
14	火		木		日	月	火	水	木	金	土	日	月
15	水		金		月	火	水	木	金	土	日	月	火
16	木		土	開所日	火	水	木	金	土	日	月	火	水
17	金		日		水	木	金	土	日	月	火	水	木
18	土		月		木	金	土	日	月	火	水	木	金
19	日		火		金	土	日	月	火	水	木	金	土
20	月		水		土	日	月	火	水	木	金	土	日
21	火		木		日	月	火	水	木	金	土	日	月
22	水		金		月	火	水	木	金	土	日	月	火
23	木		土	開所日	火	水	木	金	土	日	月	火	水
24	金	工賃支給日	日		水	木	金	土	日	月	火	水	木
25	土	開所日	月		木	金	土	日	月	火	水	木	金
26	日		火		金	土	日	月	火	水	木	金	土
27	月		水		土	日	月	火	水	木	金	土	日
28	火		木		日	月	火	水	木	金	土	日	月
29	水	昭和の日	金		月	火	水	木	金	土	日	月	火
30	木		土	開所日	火	水	木	金	土	日	月	火	水
31		新年度式	日		水	木	金	土	日	月	火	水	木
備考					避難訓練		お疲れ様会 (夏)		健康診断		避難訓練		
											インフルエン サ予防接種 避難訓練		
											避難訓練		

令和8年度事業所事業計画

事業所名：サポートセンター曙

1. 概要

※就労定着支援は4月1日時点の契約（予定）者数を記載

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
就労継続支援B型	20	就労定着支援	12
就労移行支援	15		

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

「働く喜びを通じて、自分らしい暮らしを実現できる社会」の実現に向け、ご利用者が就労を通じて社会とのつながりを持ち、自信と誇りを持って地域で自立した生活を送り続けられることを目指す。また、ご家族にとっても将来への不安が解消され、将来に向けて「情報保障」「安心」が整った地域社会を構築する。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

① 多様な就労機会の提供：

- ・「新卒サポートコース」 学卒者への就労サポート・社会マナーの向上
- ・「リスタートコース」 社会人経験者の再就労サポート
- ・「ステップアップコース」 B型から就労移行へのステップアップサポート
- ・「やりがい重視コース」 販売や製造を通じた社会とのつながりなど、個々の特性やニーズに応じた多角的なコースを運営し、働く場と成長の機会を提供する。

② 切れ目のない支援体制の構築：幼少期（学校）から卒業後、そして就労後の定着支援に至るまで、ライフステージに合わせた一貫したサポートを実施する。その一環として、新しい制度である「就労選択支援事業」に関する情報収集や地域ニーズの把握を進め、実施に向けた準備・検討を行う。

③ 地域共生・ネットワークの構築：行政、教育機関、企業、地域住民（まちづくり協議会等）に参画・繋がり、障害理解の促進と地域福祉の向上を目指す。

④ 専門性の向上と組織強化：就労支援のノウハウやアセスメントを理解した人材を育成し、ガバナンスとワークライフバランスを両立させた持続可能な事業運営を行う。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	個々のニーズに即したコース別支援の展開	移行（こねくと）：個別の就労ニーズに対応する支援コースを展開し、個々の状況に合わせた支援の充実を進める。実践・広報を並行して行うことで、利用者の獲得、適切な個別支援を両立させていく。 定着（こねくと）：移行支援からの連続性を持ち、「就労後も途切れることがない支援」を展開。特に生活面のサポート（年金やグループホームなど）に向けた専門性の向上を進める。 B型（のぞみ）：ご利用者の体力や年齢・ご家族の生活状況把握といった生活面アセスメントを重要視する。 「居場所」としての利用を希望する方への支援、「ステップアップ」を検討する方への支援の両面を展開していく。
2	工賃向上と生産活動の充実	自主製品（クッキー・マドレーヌ）の製造販売や内職作業を充実させる。地域イベント「あけぼの市（AKB1）」等への実施を通じ、ご利用者の達成感と収益向上を両立させる。
3	支援力の向上と健全な労働環境の構築	就労から生活面（年金・居住等）までを支える専門職員育成を行い、多角的な支援体制を確立する。また、「就労選択支援事業」の情報収集、地域ニーズの把握を行う。同時に、ワークライフバランスを推進し職員が心身ともに健康に働ける環境を整える。
4	「安心」を届ける家族支援イベントの開催	「みらいまっぷを作ろう！」や「就労者講演会」を伴う親子懇談会（年3回）を実施。夏休み期間には「親子体験会」「放課後デイ連携・見学会」を行うことで、学校卒業後の見通しの不安解消や就労後の生活設計（後見制度等）の情報を発信していく。
5	地域連携と相談窓口機能の強化	まちづくり協議会や学校等との協働を深め、地域中学校のトライやるウィークの受入れや見学広報を行う。地域資源としての役割を確立し、利用者確保と地域理解を広げる。

令和8年度 年間予定表

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	火	水
1	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	火	水
2	木	土	日	月	火	水	木	金	土	日	火	水
3	金	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
4	土	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
5	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
6	月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
8	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	火	水
9	木	土	日	月	火	水	木	金	土	日	火	水
10	金	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
11	土	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
12	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
13	月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
14	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
15	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	火	水
16	木	土	日	月	火	水	木	金	土	日	火	水
17	金	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
18	土	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
19	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
20	月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
21	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
22	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	火	水
23	木	土	日	月	火	水	木	金	土	日	火	水
24	金	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
25	土	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
26	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
27	月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
28	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
29	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	火	水
30	木	土	日	月	火	水	木	金	土	日	火	水
31	金	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
備考	入所式 レクレーション	レクレーション 5/5 放課後デイ 連携 こねくと保護者 総議会	就労系ワーキ ングイベント 「みらいまっ ぷを作ろう」	親子体験実習 放課後デイ連 携 曙夏祭り	レクレーション	レクレーション	レクレーション	レクレーション	レクレーション	レクレーション	レクレーション	レクレーション

	1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月	
	木	金	日	月	火	水	金	土	月	火	月	火
1	木	金	日	月	火	水	金	土	元旦	月	月	火
2	金	土	日	月	火	水	土	日	年始休暇	火	火	水
3	土	日	月	火	水	木	日	月	年始休暇	水	水	木
4	日	月	火	水	木	金	月	火	月	木	木	金
5	月	火	水	木	金	土	火	水	金	土	土	日
6	火	水	木	金	土	日	水	木	土	日	日	月
7	水	木	金	土	日	月	木	金	日	月	月	火
8	木	金	土	日	月	火	金	土	月	火	火	水
9	金	土	日	月	火	水	土	日	開所日	水	水	木
10	土	日	月	火	水	木	日	月	成人の日	木	木	金
11	日	月	火	水	木	金	月	火	建国記念日	金	金	土
12	月	火	水	木	金	土	火	水	開所日	土	土	日
13	火	水	木	金	土	日	水	木	開所日	日	日	月
14	水	木	金	土	日	月	木	金	土	月	月	火
15	木	金	土	日	月	火	金	土	月	火	火	水
16	金	土	日	月	火	水	土	日	開所日	水	水	木
17	土	日	月	火	水	木	日	月	土	木	木	金
18	日	月	火	水	木	金	月	火	日	金	金	土
19	月	火	水	木	金	土	火	水	土	土	土	日
20	火	水	木	金	土	日	水	木	日	日	日	月
21	水	木	金	土	日	月	木	金	月	月	月	火
22	木	金	土	日	月	火	金	土	日	日	日	月
23	金	土	日	月	火	水	土	月	開所日	火	火	水
24	土	日	月	火	水	木	日	火	天皇誕生日	水	水	木
25	日	月	火	水	木	金	月	木	土	木	木	金
26	月	火	水	木	金	土	火	金	土	金	金	土
27	火	水	木	金	土	日	水	木	土	土	土	日
28	水	木	金	土	日	月	木	金	日	日	日	月
29	木	金	土	日	月	火	土	月	年末休暇	金	金	土
30	金	土	日	月	火	水	日	火	年末休暇	土	土	日
31	土	日	月	火	水	木	月	水	年末休暇	日	日	月
備考	日帰り旅行 (のぞみ) ハロウィーンイ ベント（地域 連携）	第二回のぞみ ／こねくと保 護者懇談会 あけぼの市	のぞみクリス マス会	レクレーシ ョン	第三回のぞみ ／こねくと保 護者懇談会	こねくと就労 者05会	こねくと就労 者05会	こねくと就労 者05会	こねくと就労 者05会	こねくと就労 者05会	こねくと就労 者05会	こねくと就労 者05会

令和8年度事業所事業計画

事業所名：サポートセンター双葉

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）
生活介護	20

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

ご利用者一人ひとりがより自分らしく生きていけるように支援を展開していくとともに、ご家族に対しても信頼される事業所として支援の質の向上を図っていく。
二見西地区での分け隔てのない地域づくりを主体的に推進していく。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

ご利用者が充実した人生を送ることができるように、一人ひとりを見る・知る・理解することを徹底し、自己実現へのサポートをさらに向上させる。また、経験する機会にも重点を置き、地域の中で様々な経験ができるように支援していく。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	専門性や支援力向上の機会を確保していく	・積極的な研修参加 ・事業所内チーム（日中活動・自閉症）を中心に定期的な職場内研修を実施していく（半期ごと） ・広い視野をもって支援をしていけるよう、関係機関の役割を理解し連携を強化していく
2	ご利用者には様々な経験ができるような活動を取り入れていく	・地域交流行事への参加 ・個別外出の継続 ・ご利用者の他事業所見学・体験の機会を作る（年1回以上） ・利用者自治会の実施（3カ月に1回）
3	信頼される事業所として、安心・安全な環境をつくる	・安全管理委員会を機能させ、リスクマネジメントの意識を向上させる ・保護者やご利用者へのアンケートを実施する（半期ごと） ・保護者との接点を定期的に持つ（毎月の活動報告を紙面で行うほか、勉強会などを実施）

4	地域との交流を積極的に行う	・まちづくり協議会に参画する ・地域イベントに参加するとともに、双葉発信の地域イベントを実施する（年1回） ・SNSなどを利用した広報活動により、開かれた事業所であることをアピールする
5	職員が安心して働ける環境づくりを行う	・個別面談の実施（4～6カ月毎） ・ストレスチェックの実施（3カ月毎）

令和8年度 年間予定表

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月	
		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月	
1	水	金	金	金	月	月	水	水	水	土	火	火	火	木	日	日	火	火	土	金	金	月	月	月	月
2	木		土	土	火	火	木	木	木	日	水	水	水	金	月	月	水	水	土	土	土	火	火	火	火
3	金		日	日	水	水	金	金	金	月				土	火	火	木			日	水	水	水	水	水
4	土		月	月	木	木	土	土	土	火				日	水	水	金			月	木	木	木	木	木
5	日		火	火	金	金	日	日	日	水	土	土	土	月	木	木	土	土	火	火	金	金	金	金	金
6	月		水	水	土	土	月	月	月	木				火	金	金	日	日	水	水	土	土	土	土	土
7	火		木	木	日	日	火	七	七	金	月	月	月	水	土	土	月		木		日	日	日	日	日
8	水	避難訓練			月	月	水	水	水	土	火			金		日	火	金	金	金	月	月	月	月	月
9	木		土	土	火	火	木	木	木	日	水	水	水	金	月	月	水		土	土	火	火	火	火	火
10	金		日	日	水	水	金	金	金	月				土	火	火	木		日	日	水	水	水	水	水
11	土		月	月	木	木	土	土	土	火	山の日	金	金	日	水	水	金		月	成人の日	木	木	木	木	木
12	日		火	火	金	金	日	日	日	水	避難訓練	土	土	月	金	金	土	土	火		金	金	金	金	金
13	月		水	水	土	土	月	月	月	木				火	金	金	日	日	水		土	土	土	土	土
14	火		木	木	日	日	火	火	火	金		月	月	土	土	土	月	月	木		日	日	日	日	日
15	水		金	金	月	月	水	水	水	土				日	金	金	火		金	開所日	月	月	月	月	月
16	木		土	土	火	火	木	木	木	日				月	土	土	水		土	開所日	火	火	火	火	火
17	金		日	日	水	水	金	金	金	月				火	日	日	木		日		水	水	水	水	水
18	土		月	月	木	木	土	土	土	火				金	月	月	金		月		木	木	木	木	木
19	日		火	火	金	金	日	日	日	水		開所日	開所日	土	土	土	土		火		金	金	金	金	金
20	月		水	水	土	土	月	月	月	木				日	金	金	日		水	総合防災訓練	土	土	土	土	土
21	火		木	木	日	日	火	火	火	金		敬老の日	敬老の日	月	土	土	月		木		日	日	日	日	日
22	水		金	金	月	月	水	水	水	土	サマーカーニバル	月	国民の休日	金	日	日	火		金		月	月	月	月	月
23	木		土	土	火	火	木	木	木	日		秋分の日	秋分の日	月	日	月	水	土	金	開所日	火	火	火	火	火
24	金	自治会 工賃支給日	日	日	水	水	金	金	金	月				金	月	火	木		土		水	水	水	水	水
25	土	土曜日レク 誕生日会	月	月	木	木	土	土	土	火				金	土	土	金		月	金	木	木	木	木	木
26	日	土曜日レク 誕生日会	火	火	金	金	日	日	日	水				土	日	日	木	土	火		金	金	金	金	金
27	月	感染症対策委員会	水	水	土	土	月	月	月	木				日	金	土	土	日	水		土	土	土	土	土
28	火		木	木	日	日	火	火	火	金				月	土	土	月	月	木		日	日	日	日	日
29	水	昭和の日	金	金	土	土	水	水	水	土	誕生日会	火		土	日	日	火	火	金	土曜日レク 誕生日会	月	月	月	月	月
30	木		土	土	日	日	木	木	木	日				金	月	月	水	水	土	土曜日レク 誕生日会	火	火	火	火	火
31	金	花見	日	日	月	月	金	金	金	月				土	土	土	木	木	日	初詣	日	日	日	日	日
備考						健康診断 協)		校区えん日（職員 み） 口腔ケア勉強会		地域交流カレハ ティー （協会にて） 感染症対策研修 虐待・拘束研修		健康診断		グルーブ外出① グルーブ外出② 歯科検診 共同募金		ふたみみんのまつ り 日帰り交流旅行（ま ち協）		防災イベント（ま ち協） BOP研修 感染症対策研修 安全対策研修		初詣		工場見学		（協会にて） 虐待・拘束研修 感染症対策訓練	

令和8年度事業所事業計画

事業所名：サポートセンター貴和

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）
就労継続支援B型	20

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

ご利用者一人ひとりが安心して通い、地域の中で役割ややりがいを感じられる事業所を目指す。また、地域や関係機関から信頼され、共生社会の実現に貢献できる拠点となることを目指す。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

ご利用者の思いや希望を大切にし、就労支援と生活支援の両面から一人ひとりに合った支援を行う。職員間の連携を図りながら支援の質を高め、地域とのつながりを通じて社会参加の機会を広げていく。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	事業所理解の促進と利用者確保	見学・体験の受け入れを継続するとともに、6月に事業所説明会を実施し、利用検討者や関係機関に対して事業所の取り組みや特色を分かりやすく発信する。
2	利用者構成の変化に応じた支援と利用継続への取り組み	利用者構成の変化を踏まえ、就労面に加えて生活・相談支援を行い、不安や困りごとの早期把握に努める。また、就労意欲や体力面に配慮した活動を提供し、安心して利用を継続できる支援体制を整える。
3	作業内容の充実とやりがいの向上	ご利用者の得意分野や関心に応じた作業を工夫し、作業成果の振り返りを通じて達成感や意欲の向上につなげる。
4	業務の効率化とAI活用の推進	職員向けにAI活用に関する研修や情報共有を行い、文書・記録作成等で試行的に導入することで、職員の負担軽減と利用者支援時間の確保につなげる。

5	地域連携と社会参加の推進	地域行事や清掃活動、ユニバーサルスポーツ等を通じて地域との交流を深め、ご利用者が地域の一員として社会参加できる機会を創出する。
---	--------------	---

令和8年度 年間予定表

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	水	辞令交付式			開所日	火							
2	木						火						
3	金				日	憲法記念日	水						
4	土				月	みどりの日	木						
5	日				火	こどもの日	金					開所日	
6	月				水	振替休日	土						
7	火				木		日			前期賞与支給日			
8	水				金		月			開所日			
9	木				土	開所日	火						
10	金				日		水						
11	土				月		木				山の日		
12	日				火		金				水		
13	月				水		土						
14	火				木		日						
15	水				金		月			開所日			
16	木				土	開所日	火						
17	金				日		水						
18	土				月		木						
19	日				火		金					開所日	
20	月				水		土			海の日			
21	火				木		日						敬老の日
22	水				金		月						国民の休日
23	木				土	開所日	火						秋分の日
24	金	工賃支給日			日		水			工賃支給日			
25	土	開所日			月	工賃支給日	木			工賃支給日			工賃支給日
26	日				火		金						
27	月				水		土						
28	火				木		日						
29	水	昭和の日			金		月						
30	木				土	開所日	火						
31		新年度式			日		金						
備考							事業所説明会				事業所見学会	健康診断	
													</

令和8年度事業所事業計画

事業所名：やまゆりの家

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）
共同生活援助	50

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

地域の中で、ご利用者一人ひとりが「自分らしくいられる」「自分を受け入れてもらえる」と感じられる心理的に安全な住まいを作る。職員は生活の主体はご利用者本人であることを大切に、管理する者ではなく伴走者として、その人が「望む暮らし」が継続できる環境づくりに努める。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

ご利用者の言葉・行動・沈黙の背景にある思いを丁寧に汲み取り、その人が安心して選択できる生活を支える。生活リズムや過ごし方を一律に管理するのではなく、安全に配慮した仕組みの中で選択肢を広げる支援を実践する。一人ひとりの特性を前提とした支援体制を整え、チームとして支援の質を高め続ける。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	心理的安全の確保	「否定されない」「急かされない」と感じられる心理的安全の確保を目指し、ご利用者の真意を汲み取るための支援力・観察力の底上げを図る。外部研修への派遣・内部研修の継続・実践報告会を通じ、チームとして能力を高める。
2	有事への備えとリスク管理	障害特性・高齢化に配慮する上でのリスク管理を更に強化する。委員会を中心に対応マニュアルの整備や活かせる訓練の実施。天災・事故・怪我等の初動対応を可視化し、有事への備えを各ホームで整備する事で職員の精神的不安の軽減に努める。

3	人材確保と育成	ホーム職員の確保に向けた広報活動を行う。知識やスキルの習得と併せ、「沈黙の背景を汲み取る」という深い専門性や人間性を感じる職種の魅力ややりがいを職員間で共有する機会（リフレクション）の仕組み構築する。
4	第3 やまゆりの家の移転	西八木への移転を行う。ご利用者の新しい地域での新生活をしっかりとバックアップする。引っ越し・新規受け入れ（定員増）・安定したホーム運営体制を構築する。
5	地域交流	地域の一員としての役割をご利用者と共に担っていく。自治会・地域活動への継続的な参加を行う。第3回目となる第7 やまゆりの家（松蔭）でのイベントを通し、地域交流と理解促進に取り組む。

令和8年度 年間予定表

		4月		5月		6月		7月		8月		9月				10月		11月		12月		1月		2月		3月			
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	辞令交付式																						金	元旦				月	
2																							土	年始休暇				火	
3																							日	年始休暇				水	
4																							月					木	
5																							火					金	
6																							水					土	
7																							木					日	
8																							金					月	
9																							土	開所日				火	
10																							日					水	
11																							月	成人の日				木	
12																							火					金	
13																							水	役職者会議				土	
14																							木					日	
15																							金					月	
16																							土	開所日				火	
17																							日					水	
18																							月					木	
19																							火					金	
20																							水					土	
21																							木	職員会議				日	
22																							金					月	
23																							土	開所日				火	
24																							日					水	
25																							月					木	
26																							火					金	
27																							水					土	
28																							木					日	
29																							金					月	
30																							土	開所日				火	
31																							日					水	
備考																													

令和8年度事業所事業計画

事業所名：グループホーム咲楽

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
共同生活援助	20	短期入所事業	1

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

自閉症や強度行動障害への標準的支援を軸に根拠ある個別支援を実践する。各々の特性に基づく構造化・視覚化等の環境設定とアセスメントを徹底し、「その人の望む暮らし」を実現する。チーム支援による専門性を高め、透明性の高い運営を通じて地域社会との信頼を構築。行動障害があってもその人らしく穏やかに暮らせる安心の場を創造し続ける。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

専門性を追求しチームの支援力を高め続ける。ご利用者の権利・尊厳を遵守する専門職として誇りある組織づくりに取り組む。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	支援力の向上	標準的支援を柱に、PDCA サイクルでの実践を積み上げる。強度行動障害 SV 事業を通じて基礎・応用力を研鑽し、SV・広域的人材・中核的人材を担う人材育成に取り組む。研修・施設見学・事例検討・実践報告会などを企画し、チーム全体での支援力向上を目指す。
2	2 番館ご利用者の受入・運営	2 番館 1st（定員 7 名）・2nd（定員 6 名）の運営を開始する。1 番館での経験を活かしながら、ご利用者・ご家族のサポートに努める。まずは新生活に順応し安心できる存在・環境となれる様に努める。スケールメリットを活かした事業所運営を構築する。

3	人材育成と定着	2 番館開所に伴い、多様な雇用形態での職員配置となっている。業務内容のマニュアル化・標準的支援の理解と統一・情報共有と意思疎通・育成体制の構築に努める。ミーティング・会議・面談などの対面機会でのフォローアップの仕組み作りに取り組む。
4	運営の安定化	初年度の収益を踏まえた経営戦略をまとめ、3 番館開設を見据えた運営体制を検討する。最大限の収入・最小限の支出を実行し健全運営を目指す。 収支報告を基に、役職・事務員による運営ミーティングを四半期ごとに開催する。
5	地域に開かれた事業所運営	魚住町清水地区での認知度は多少なりにも広がっている。地域の一員として地域活動や交流の機会には引き続き足を運び地道な活動を継続する。 またグループホーム運営や自閉症・行動障害者の支援を通し、明石市内の他事業所との連携・協働を広げて行く。

令和8年度 年間予定表

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		
	水	辞令交付式	金		月		水		土		火		
1	木		土	開所日	火		木		日		水		
2	金		日	憲法記念日	水		金		月		木		
3	土		月	みどりの日	木		土		火		金		
4	日		火	こどもの日	金		日		水		土	開所日	
5	月		水	振替休日	土		月		木		日		
6	火		木		日		火		金		月		
7	水		金		月	役職者会議	水		土	開所日	火		
8	木		土	開所日	火		木		日	役職者会議	水		
9	金		日		水		金		月	山の日	木		
10	土		月	役職者会議	木		土		火		金		
11	日		火		金		日		水		土		
12	月	役職者会議	水		土		月	役職者会議	木		日		
13	火		木		日		火		金		月	役職者会議	
14	水		金		月		水		土		火		
15	木		土		火		木		日		水		
16	金		月	開所日	水		金		月		木		
17	土		火		木		土		火		金		
18	日		水		金		日		木		土		
19	月		木		土	職員会議	月		火		水		
20	火		金		日		火	海の日	木		金	開所日	
21	水		土		月		水		金	職員会議	土	敬老の日	
22	木		日	職員会議	火		木		日	開所日	月	国民の休日	
23	金	職員会議	月	開所日	水		金		月		火	秋分の日	
24	土		火		木		土	職員会議	日		水		
25	日	開所日	水		金		日	開所日	月		木	職員会議	
26	月		木		土		月		火		金	開所日	
27	火		金		日		火		土		日		
28	水		土		月		水		金		月		
29	木	昭和の日	火		火		木		土	開所日	火		
30	金		水	開所日	土		金		日		水		
31	土		木		火		土		月		木		
	日		金		水		日		火		金	年末休暇	
												年末休暇	
												年末休暇	
備考													

	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	木	日	水	文化の日	火	土	金	元旦 年始休暇	月	月	月	月
1	土						土	年始休暇	火		火	
2	金						日		水		水	
3	土			文化の日			月		木		木	
4	日						火		金		金	
5	月						水		土		土	
6	火						木		日		日	
7	水			開所日			金		月		月	
8	木						土		火		火	
9	金			役職者会議			日		水		水	
10	土						月		木		木	
11	日						火		金		金	
12	月	スポーツの日					水		土	建国記念日	土	
13	火	役職者会議					木		日		日	
14	水						金		月		月	
15	木						土		火		火	
16	金						日		水		水	
17	土	開所日					月		木		木	
18	日						火		金		金	
19	月						水		土	職員会議	土	職員会議
20	火						木		日		日	
21	水						金		月		月	春分の日
22	木						土		火		火	振替休日
23	金	職員会議					日	職員会議	水	天皇誕生日	水	
24	土						月		木		木	
25	日						火		金		金	
26	月						水		土		土	
27	火						木		日		日	開所日
28	水			開所日			金		月		月	
29	木						土		火		火	
30	金						日		水		水	
31	土	開所日					月		木		木	
備考												

令和8年度事業所事業計画

事業所名：あいすくりーむの家・かいのき

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
共同生活援助	19	生活介護/共生型通所介護	20
短期入所	1		

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

ご利用者一人ひとりの「今」を大切にすることで生活を豊かにしていく。暮らしの延長線上に看取りがあることを意識し、日々のケアの充実を図る。

日中活動においては、「今日一日楽しかった」と感じられるような過ごし方をご利用者と一緒に考えていく。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

リビングウィルの意向確認・更新を定期的実施し、ご本人の日々の暮らし方や最期の過ごし方に対する希望を深く汲み取り、支援へ具体的に反映させていく。

障害理解を深めるとともに、ご利用者の高齢化に伴う身体・認知機能の変化に適切に対応するため介護の知識・技術を積極的に習得する。障害と高齢という重複した課題に対し、包括的な視点でアプローチできる専門性を確立する。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	支援力の向上を図る	定期的に研修を行い職員個々のスキルを上げる。ケース担当中心にご利用者の状況をアセスメントし、チームでケアを実施、振り返りまでをタイムリーに行えるよう支援サイクルを定着化させる。また、外部研修や見学を実施し、職員個々の気づきやモチベーションを上げることに繋げていく。ご利用者の過ごし方については、昨年同様身体機能に応じたグループ分けを行い、「個」に焦点を当てた活動を組み込む。

2	人材の定着と育成を図る	入職した職員には法定研修以外に介護技術研修とあいすくりーむの家ハンドブックを用いた研修を行う。「介護」のみではなく、「障害」をテーマにした研修を初動で組み込み障害についての知識を習得する。世話人も同様「障害理解」をより深めていけるよう研修を継続していく。
3	ご家族との時間を大切にする	年1回の家族交流会以外にも、行事があればご家族の参加を促していく。ご家族の高齢化に伴い、あいすくりーむの家へ出向くことが難しい場合は自宅訪問を行い、家族と過ごす時間を積極的に増やしていく。定期的に機関紙を発行し、あいすくりーむの家での様子を発信していく。看取りについても勉強会等を実施し、終末期についての理解と取り組みを伝えていく。
4	終末期の体制を整える	往診医療への切り替え、看取りを見据えた主治医を選定する。書類関係については、同意書、リビングウィルの確認と更新、連絡体制の整理、終末期ケアシートを個別に作成する。リビングウィルのなかで実現したことについては、事業所に掲示して可視化する。また、看取り期の意思決定支援をより深めるため、高齢者施設でご本人やご家族、後見人の方々の希望をどのように汲み取っているのか等の実践事例を伺い、その具体的な手法を学び参考にする。
5	地域とのつながりを持つ	かいのきのイベントや日中活動等で、地域の方にあいすくりーむの家へお越しいただく機会を設けて交流を図る。

令和8年度 年間予定表

		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	水	辞令交付式	土	開所日	火	土	水	木	土	日	月	火	水
2	木		日	憲法記念日	水	月	金	土	火	水	木	金	土
3	金		月	みどりの日	木	火	土	日	水	木	金	土	火
4	土		火	こどもの日	金	水	木	金	土	日	月	火	水
5	日		水	振替休日	土	木	火	土	日	月	金	土	火
6	月		木		日	金	土	火	水	木	金	土	火
7	火		金		月	土	水	木	金	土	日	月	火
8	水		土	開所日	火	土	水	木	金	土	日	月	火
9	木		日		水	木	金	土	火	水	木	金	土
10	金		月		土	火	土	日	水	木	金	土	火
11	土		火		金	土	水	木	金	土	日	月	火
12	日		水		土	木	金	土	火	水	木	金	土
13	月		木		日	金	土	火	水	木	金	土	火
14	火		金		月	土	水	木	金	土	日	月	火
15	水		土		火	土	水	木	金	土	日	月	火
16	木		日	開所日	水	木	金	土	火	水	木	金	土
17	金		月		土	火	土	日	水	木	金	土	火
18	土		火		金	土	水	木	金	土	日	月	火
19	日		水		土	木	金	土	火	水	木	金	土
20	月		木		日	金	土	火	水	木	金	土	火
21	火		金		月	土	水	木	金	土	日	月	火
22	水		土	開所日	火	土	水	木	金	土	日	月	火
23	木		日		水	木	金	土	火	水	木	金	土
24	金		月		土	火	土	日	水	木	金	土	火
25	土	開所日/職員会議	火		金	土	水	木	金	土	日	月	火
26	日		水		土	木	金	土	火	水	木	金	土
27	月		木		日	金	土	火	水	木	金	土	火
28	火		金		月	土	水	木	金	土	日	月	火
29	水	昭和の日	土		火	土	水	木	金	土	日	月	火
30	木		日	開所日/職員会議	火	土	水	木	金	土	日	月	火
31			月		金	土	水	木	金	土	日	月	火
									健康診断				
									家族交流会				
									クリスマス会				
									新年会				

令和8年度事業所事業計画

事業所名：すたじおぼっち

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）
生活介護事業	15 人/日

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

自由に自分を表現できる社会

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

① be you(あなたのままで) 安心して自分を表現できる場づくり

② present（届ける・現す） 視点や世界を広げる

表現活動を手段として、ご利用者の成長や幸せ、様々な人・場とのつながりを創造していく。

4. 本年度の具体的な計画

順位	項目	内容
1	行動指針「よくみる」の実践 （安心や幸せを感じられる支援に向けて）	・「観る（意図的にみる）」「看る（寄り添う）」「視る（確かめる）」を意識しながら一人ひとりを知る。 ・“幸せ”を軸にした支援会議の実施：月1回。 ・法人内事業所体験・外部視察・研修の機会。
2	行動指針「すぐ共有すぐ対応」の実践 （不安の共有・支援の確認・話す機会を増やす）	・各種会議での共有（支援会議・チーム会議・企画会議・全体会議）と、時間確保・参加しやすい工夫。 ・いい支援＋気になることアンケート：年3回。 ・職員面談：年2回＋個別に応じて。
3	様々な人・場とのつながりを創る （福祉とアートの“間”を目指す）	・展示・販売・企画の実施：年間計画に沿って。 ・職員間でのスケジュール共有・役割分担。 ・「誰に・どんな幸せを届けられたか？」を振り返る。
4	個性に応じた役割分担 （職員も成長や幸せを感じられるように）	・「支援員」の役割を細分化、より広義に捉える。 ・面談を通してそれぞれの強みを確認、役割へ。 ・事業報告にて活動や業務の振り返り：年度末。

令和8年度 年間予定表

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	水	辞令交付式	金	開所日	火	水	土	黄昏コンサート	火	土	黄昏コンサート	火	
2	木		土		火	木			水	日			
3	金		日	憲法記念日	水	金			木	月			
4	土		月	みどりの日	木	土			金	火			
5	日		火	こどもの日	金	日			土	水		開所日	
6	月		水	振替休日	土	月			金	木			
7	火		木		日	火			土	金			
8	水		金		月	水			日	土			
9	木		土	開所日	火	木			金	日			
10	金		日		水	金			土	月			
11	土		月		木	土			日	火	山の日		
12	日		火		金	日			水	土			
13	月		水		土	月			金	日			
14	火		木		日	火			土	月			
15	水		金		月	水			日	火			
16	木		土	親子ヨガ体験	火	木			金	土			
17	金		日		水	金			土	月			
18	土		月		木	土			日	火			
19	日		火		金	日			水	土	開所日		
20	月		水		土	月		海の日	金	日			
21	火		木		日	火			土	月		敬老の日	
22	水		金		月	水			日	土	金ヶ崎祭り	国民の休日	
23	木		土	開所日	火	木			金	日		秋分の日	
24	金		日		水	金			土	月			
25	土	開所日	月		木	土		全体会議	日	火			
26	日		火		金	日			土	水		開所日	
27	月		水		土	月			金	日			
28	火		木		日	火			土	月			
29	水	昭和の日	金		月	水			日	土	開所日		
30	木		土	開所日	火	木			金	日			
31			日		水	金			土	月			
備考			保護者向け集いの場（ヨガ体験）		展示：シオヤコレクション		展示：明石市立文化博物館（ケアでつながるアート）		地域：黄昏コンサート/金ヶ崎祭り				
				</									

令和8年度事業所事業計画

事業所名：相談支援事業所オアシス

1. 概要

提供するサービス・事業種別	契約者(人)	提供するサービス・事業種別	契約者(人)
指定特定相談支援事業	417	一般相談支援事業	0
指定障害児相談支援	2		

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

その人の望む暮らしの実現を目指し、本人の声や想いを丁寧にくみ取り、その人の歴史や背景を理解した上で地域の中で当たり前前に暮らし続けられる仕組みづくりを行っている。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

ご利用者を中心とした意思決定支援を基盤とするアセスメントを行い、関係機関や地域資源をつなぐコーディネート機能を発揮する。

併せて、相談支援専門員の専門性を高めるとともに地域課題の集約と解決に向けた取組を行うことで、誰もが当たり前前に暮らし続けられる共生社会の実現に寄与していく。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	個別ニーズに基づき、サービスが円滑に利用できる計画を作成する	国の基準に則ったサービス等利用計画およびモニタリングを実施するとともに、ご利用者一人ひとりの状況や希望に応じた相談支援を行う。 (年間目標：計画 410 件、モニタリング 1,046 件)
2	ICT 活用による支援の質の向上と効率化を図る	モバイル端末・プリンタの活用により、事務作業・移動時間の削減を図る。また、記録作成時における AI の活用検証を行い、創出した時間をケースワークや社会資源の調査に充てる。
3	地域連携とインフォーマル支援の強化を図る	個別避難計画等の作成を契機として、自治会や民生委員等との顔の見える関係づくりを進める。あわせて、ボランティア活動や趣味の場などのインフォーマルな地域資源を活用し、本人の社会参加の促進を図る。

4	相談支援専門員の専門性の維持・向上を図る	機能強化型（Ⅰ）を維持するとともに、主任相談支援専門員および高次脳機能障害支援に係る体制を新たに整備する。また、基幹相談支援センターが実施する研修等に参画し、得られた情報や知見を事業所内で共有する。
5	地域課題を把握し関係機関と共有を図る	相談支援を通じて把握した、既存の制度やサービスのみでは解決が困難な課題について、自立支援協議会や市が実施する意見聴取の場において、共有・報告を行い関係機関と連携しながら課題解決に向けた取組の推進を図る。

令和8年度 年間予定表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月				10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	水	辞令交付式	金	開所日	月	火	水	木	土	日	月	火			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	木		土	開所日 <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	火	水	木	金	土	日	月	火	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
2	金		日	憲法記念日 <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>文化の日<td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></td>	水	木	金	土	日	月	火	文化の日 <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
3	土		月	みどりの日 <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td></td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	木	金	土	日	月	火	水		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
4	日		火	こどもの日 <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>開所日<td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></td>	金	土	日	月	火	水	木	開所日 <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
5	月		水	振替休日 <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td></td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	土	日	月	火	水	木	金		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
6	火		木		月	火	水	木	金	土	日		6	7	8	9	10	11	12	13	14					
7	水		金		火	水	木	金	土	日	月	開所日 <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	7	8	9	10	11	12	13	14						
8	木		土	開所日 <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td></td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td>	火	水	木	金	土	日	月		8	9	10	11	12	13	14							
9	金		日		水	木	金	土	日	月	火		9	10	11	12	13	14								
10	土		月		木	金	土	日	月	火	水		10	11	12	13	14									
11	日		火		土	日	月	火	水	木	金		11	12	13	14										
12	月		水		日	月	火	水	木	金	土		12	13	14											
13	火		木		月	火	水	木	金	土	日		13	14												
14	水		金		火	水	木	金	土	日	月		14	15												
15	木		土		水	木	金	土	日	月	火		15	16												
16	金		日	開所日 <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td></td> <td>16</td> <td>17</td>	火	水	木	金	土	日	月		16	17												
17	土		月		水	木	金	土	日	月	火		17	18												
18	日		火		木	金	土	日	月	火	水		18	19												
19	月		水		月	火	水	木	金	土	日		19	20												
20	火		木	海の日 <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td></td> <td>20</td> <td>21</td>	金	土	日	月	火	水	木		20	21												
21	水		金		土	日	月	火	水	木	金		21	22												
22	木		土		月	火	水	木	金	土	日		22	23												
23	金		日	開所日 <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td></td> <td>23</td> <td>24</td>	火	水	木	金	土	日	月		23	24												
24	土	開所日 <td>月</td> <td></td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td></td> <td>24</td> <td>25</td>	月		水	木	金	土	日	月	火		24	25												
25	日		火	開所日 <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td></td> <td>25</td> <td>26</td>	水	木	金	土	日	月	火		25	26												
26	月		水		木	金	土	日	月	火	水		26	27												
27	火		木		金	土	日	月	火	水	木		27	28												
28	水		金		土	日	月	火	水	木	金		28	29												
29	木	昭和の日 <td>土</td> <td></td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td></td> <td>29</td> <td>30</td>	土		月	火	水	木	金	土	日		29	30												
30	金		日	開所日 <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> <td>月</td> <td></td> <td>30</td> <td>31</td>	火	水	木	金	土	日	月		30	31												
31	土		月		水	木	金	土	日	月	火		31													
備考	毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会 基幹相談支援研修		毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会		毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会 基幹相談支援研修		毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会		毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会 基幹相談支援研修		毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会		毎週火曜AM オアシス会議 相談支援連絡会 基幹相談支援研修													

令和8年度事業所事業計画

事業所名：明石市障害者就労・生活支援センターあくと

1. 概要

提供するサービス・事業種別	登録者（人）	未登録者（人）
明石市障害者就労・生活支援事業業務委託	497	522

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

明石地域の障害者雇用支援に関わる機関の中心となる。それに向かい、障害のある方の「はたらく・はたらきつづける」を支え、その人や企業の声に寄り添い、関係機関とともに「誰もが自分らしくいきいきと働くことが出来る未来」をこの明石地域に広げていく。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

- ・障害のある方の就労に関する相談を受け付け、就業と生活の支援を行うためのアセスメントの質を高める。職場定着を見据え、必要に応じその人に合った訓練に繋いでいく。
- ・障害者雇用を「義務」ではなく「人材活用」として捉えられるよう、環境整備や現場の理解促進を行う。マッチングを図るための体験実習を提案していく。
- ・顔の見える関係・ネットワークの活性化を図るとともに、あくとの支援内容や役割を積極的に発信していく。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	障害者の就業生活全般に関わる支援を行う	年間の個別相談支援件数約 3,000 件、企業支援約 400 件に対し、定例会議（週 1 回）では支援の方向性や見立ての確認、事例検討会（年 3 回）ではケースの深堀をすることで、視点の拡大・職員間連携を強化し支援の質向上を目指す。 （目標：就職件数 30 件、1 年定着率 90%）

2	障害者雇用に関わる企業の雇入れ及び職場定着に対する相談支援を実施する	・ 障害者雇用啓発セミナー（10 月予定） ・ すでに関わりのある企業への定着支援に加え、中小企業や障害者雇用ゼロ企業を中心に、雇入れから雇用管理まで一体的な伴走型の相談支援（事業所内研修会や先進企業・訓練事業所への見学会、体験実習の受け入れ案内など）を行う。 （目標：企業実習 30 件）
3	就労に関わる関係機関との連携を強化する	・ 明石地域雇用支援連絡会議（年 1 回／11 月予定） ・ 明石地域雇用支援検討会チーム A 会議（年 4 回） ・ ハローワーク、職業センターの研修等への職員や登録者の送り出し。 ・ 明石市地域自立支援協議会しごと部会へ職員派遣 ・ 特別支援学校、訓練校等の進路相談会の参加、卒業生への支援。 上記の他、日々の本人支援における関係機関等との情報共有を個別丁寧を実施していく。
4	支援内容を明確化し、広報ツールを作成する	・ 対象者や期間など支援範囲の内部基準を明確化。福祉サービスや職業訓練にのらない人向けの支援プログラムを検討する。また、あくとの役割について他機関との違いも含めた「見てわかる資料」を作成し、リーフレットにまとめる。 ・ 支援活動の動画作成を目指し、企業や関係機関等の協力のもとで素材集めをする。
5	はたらきつづける為の就労・生活支援を実施する	・ 精神/発達障害のある方対象「JST（職場対人技能トレーニング）」開催（年 2 回） ・ 精神/発達障害のある方対象の語らいの場「サロン」開催（年 4 回） ・ 余暇支援として「つどい」開催（年 5 回）。つどいにおいては、楽しく過ごすのみでなく社会人として身に付けたいこと等「学習の機会」も提案する。 ・ 登録者及びご家族向けに、「就労・生活支援セミナー」を開催し、職業生活の継続や自立を支えるための社会資源について、学習の機会を提供する。 （年 1 回）

令和8年度 年間予定表

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	水	辞令交付式	金	土	月	火	水	木	土	日	火	水
1	木			開所日	火		水	木	金	土	日	月
2	金				水		木	金	土	日	月	火
3	土			憲法記念日	木		金		火	水	木	金
4	日			みどりの日	金		土		水	木	金	土
5	月			こどもの日	土		日		木	金	土	日
6	火			振替休日	月		月		木	金	土	日
7	水				火		火		金	土	日	月
8	木				水		水		土	日	月	火
9	金			開所日	木		木		日	月	火	水
10	土				金		金		月	火	水	木
11	日				土		土		火	水	木	金
12	月				日		日		水	木	金	土
13	火				月		月		木	金	土	日
14	水				火		火		金	土	日	月
15	木				水		水		土	日	月	火
16	金			開所日	木		木		日	月	火	水
17	土				金		金		月	火	水	木
18	日				土		土		火	水	木	金
19	月				日		日		水	木	金	土
20	火				月		月	海の日	木	金	土	日
21	水				火		火		金	土	日	月
22	木				水		水		土	日	月	火
23	金			開所日	木		木		日	月	火	水
24	土				金		金		月	火	水	木
25	日	開所日			土		土	開所日	火	水	木	金
26	月				日		日		水	木	金	土
27	火				月		月		木	金	土	日
28	水				火		火		金	土	日	月
29	木	昭和の日			水		水		土	日	月	火
30	金			開所日	木		木		日	月	火	水
31	土				金		金		月	火	水	木
備考	11日つどい ※毎木曜日AM あくど会議	9日サロ ン 15日雇用支援 検討会	13日つどい 20日 J S T	11日 J S T 17日雇用支援 検討会	8日つどい ※健康診断	12日サロ ン 18日雇用支援 検討会						

	1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月	
	木	金	日	月	火	水	金	土	月	火	月	火
1								元旦				
2	金							年始休暇				
3	土			文化の日				年始休暇				
4	日											
5	月											
6	火											
7	水			開所日								
8	木											
9	金							開所日				
10	土											
11	日							成人の日				
12	月	スポーツの日								建国記念日		
13	火											
14	水									開所日		

令和8年度事業所事業計画

事業所名：明石市立木の根学園

1. 概要

提供するサービス・事業種別	定員（人）	提供するサービス・事業種別	定員（人）
生活介護（たんぽぽ工房）	50	生活介護（ひまわり工房）	50
就労継続支援B型 （たんぽぽ工房）	10	就労継続支援B型 （ひまわり工房）	10
		短期入所（ひまわり工房）	7

2. ビジョン（将来に向けて目指す姿）

ご利用者自身が自分の人生を自ら選択できることを目指す。たとえ、言葉を発することができなくても、声なき声を聴き、自己決定につなげる。

3. ミッション（ビジョンを実現するために行う役割、任務等）

『やさしい支援』を提供する。

職員は第一にご利用者が本当に思っていること・感じていることを聴き、決して見過ごさない事を基本とする。言葉だけでなく、行動や表情などからご利用者の考えを推察し、ご利用者の望む経験につなげる。

第二に日々の不安やストレスを取り除くため、わかりやすい環境を作る。物理的な構造化に加え、予定や手順などの目に見えないものの構造化をし、ご利用者にとっても職員にとってもわかりやすい環境を整える。

4. 本年度の具体的な活動計画

順位	項目	内容
1	意思決定支援の定着	意思決定支援の定着を目指し、意思決定の機会を増やす。また、ご利用者の意思決定につながったケースの振り返りを行う。 ・行事などの余暇を年間を通じてご利用者が主体的に関われる機会を設ける。 ・事例検討会、報告会の実施（1回/2か月）
2	障害特性に沿ったサービスを提供する	自閉スペクトラム症への支援には物理的な構造化や予告支援を行う。 日中の活動にスノーズレン活動を取り入れる。 作業種目の見直しや手順の見直しを行う。

3	生活・権利擁護視点での職員育成を行う	OJT を活用し、新しい職員から中途採用職員まで幅広く職員育成を行う 研修計画に沿って、職員の学ぶ機会を提供する。 他事業所見学や他事業所での実習を行い、職員の育成につなげる
4	安心安全の施設作りを行う	リスクマネジメント委員会を中心に事故報告・ヒヤリハットの周知を行い重大事故を未然に予防する。 運転評価を毎月行い、事故ゼロを目指す。
5	地域とのつながりを作る	「みんなの給食」など地域と繋がる活動を行う。 地域からのボランティアを受け入れ、地域との連携を強化する

令和8年度
年間予定表

		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
30	31												
備考													

		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
30	31												
備考													

～おわりに～

近年、明石市においては、多種多様な民間福祉事業が展開され、障害のある人々の生活、就労、日中活動に関する選択肢は着実に拡充してきました。その結果、事業によっては供給が需要を大きく上回る状況も見られるようになっていきます。一方で、限られた財源や人的資源をめぐる課題は一層顕在化しており、自ら声を上げることが難しい知的障害のある人々を取り巻く状況は、決して楽観できるものではありません。

とりわけ、家族の高齢化により、暮らしの場や通いの場を市外・県外の施設や病院に求めざるを得ない方々が増加している現状においては、「地域での生活を支える基盤整備」や「高齢期を迎えた障害者の日中活動の場の確保」が、「どこで、誰と、どのように」という本人主体の意思決定を実現するうえで、避けては通れない喫緊の課題となっています。

これまで、明桜会においても、これらの課題解決に向けた取組を重ねてまいりましたが、その課題は極めて大きく、一法人の取組のみで解決できるものではないと認識しています。だからこそ、当事者や家族の立場に立って考え、福祉に関わるさまざまなネットワークの力を最大限に活かしながら、行政等と主体的に協働していくことが重要になってきます。

地域で安心して暮らし続けるために必要な支援を、将来にわたりどのように維持し、さらに充実させていくのか。その問いに向き合い続けることは、私たち社会福祉法人に課せられた本来の役割でもあります。

本事業計画は、「その人の望む暮らし」を実現するうえで、本来当然に保障されるべき権利や選択肢を、決して特別な要望や無理難題として扱うのではなく、共生社会を構築するために最低限保障されるべきものとして捉えています。あわせて、本事業計画は、地域とともに歩みを進めていくという私たちの姿勢を示すとともに、その原点を改めて確認するものです。

しにもあむ・明石をっる

